

## ミヤコシ、リョービ 次世代のデジタル印刷機を開発

ミヤコシとリョービは、3月27日、リョービ東京本社にて、B2判液体トナー方式デジタル印刷機を共同開発したことを発表した。また、drupa2012に、参考出品モデルとしてミヤコシブースで、初出展する。B2判用紙で毎時8000枚の高速印刷ができるデジタル枚葉印刷機は、このクラスで世界初となる。

小ロット、短納期、バリエーションデータに対応したデジタル印刷技術が注目を集めているが、一方で既存のオフセット印刷は大ロットに強く、高品質、低いランニングコスト、高速印刷という点で優位性があるので、両社のメリットを兼ね備えた新しい方式の印刷機が求められていた。このようなニーズに対応して、ミヤコシはdrupa2008において輪転機で実現していた1200dpiの高解像度と超微粒子液体トナー電子写真技術を、リョービはオフセット枚葉印刷機で培った高速用紙搬送技術をそれぞれ集結し、最大B2判用紙への高速印刷が行える新しい方式の印刷機を開発を行った。

今回発表されたデジタル印刷機は、超微粒子液体トナーを感光ドラムから用紙へオフセット転写させることから、インクジェット方式ではできない繊細な印刷表現で、よりオフセット印刷に近い品質を持たせることができる。

ターゲットは小ロットのカタログ、ポスター、パッケージなどの印刷用途に加え、高品質な大判のバリエーション印刷となり、drupa2012における反応を見極め、発売に向けての準備を進めていく予定。

(2012年04月 JAGAT info 掲載)